



やまゆり

学校だより

令和6年1月10日
72号
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」 一気づき・考え・実行する一
校内研究重点 「個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する生徒を育成する」

学校教育目標 **社会に貢献しながら、自立する生徒の育成**

新学期 目標達成のために考えたいこと

冬休みが終わり、新学期を迎えました。今年もよろしくお願いします。

1月1日から、能登半島地震や日本航空の旅客機と海上保安庁の飛行機事故等、大災害・大事故が起きてしまいました。甚大な被害は、今もな全容がつかめない状況です。亡くなった方々のご冥福を祈ると共に、救助や捜索の継続と避難所での生活支援や二次災害対策等を充実させるためにそれぞれの立場でできることをしていくことが求められています。

現地では、地元の中学生在が避難所で活動している報道もありました。本校でも出来る援助をしながら、3学期の安心・安全体制を再度確認し、学びを充実させたいと思います。

本日からの学校生活では、冬休みを安全に過ごして再会できたことに感謝しながら、一人一人が新たな決意をもち、自分の願いをかなえるために協力し、努力する3学期にしたいと思います。そのために生徒の皆さんには、以下の考え方や活動を参考にしてほしいと思います。

1 節目を生かして、「目標を持とう」

まず、各自が今年必ず成し遂げたいことや達成したい目標を明確に持ちましょう。

目標達成は、自分の成長や、満足感や達成感を得るためのものです。

2 「不安や緊張は、より良い自分へのチャレンジの証」である

目標達成に大切なのは、「不安や緊張、そして悩み」をどう考えるかです。多くの人は不安や緊張、悩みなどは無い方が良く考えているのではないのでしょうか。しかし、挑戦における「不安や緊張、そして悩み」は、今よりレベルの高い自分に向かってチャレンジしたりする時に生まれるものです。逆に言えば、不安や緊張、悩みの無い生活から、目標達成も満足感も得ることは難しいと考えられます。

3 「不安や緊張、悩みやストレスを放置」すると目標達成は難しくなる

道志中の生徒の良さは、「真面目で一生懸命、そして我慢強い」ことが挙げられます。しかし、不安や悩みを相談せず、ストレスを発散しない生活を続けると、不安感や孤立感が増し、やる気や主体性も低下してしまいます。

4 目標達成のためには、「現状とゴールの差を常にチェック」して修正しましょう

目標達成のためには常に目標と現状をチェックし、どうしたら達成できるかを考え続けましょう。これを「自己調整」と言います。朝起きて、誰もが「絶好調」という日は少ないはずです。

しかし、絶好調では無い日でもそれなりに活躍できるのは、理想のプレーと今日の体調や相手を分析して調整しているからだだと思います。

5 「失敗をどう捉えて改善するか」

チャレンジには失敗はつきものであり、失敗があるからこそ「成功」が生まれます。失敗は残念なことではありますが、根底には成功を夢見てチャレンジしているという大きな視点を忘れてはいけません。失敗をゼロにするには、夢や目標は持たないこと。チャレンジはしないことです。大切なことは、失敗や自分の弱さと向き合い、素直に受け止め、その原因を分析して成功につなげることです。野球の大谷選手も、世界中の観客の前で何度も負け投手になっています。

6 「粘り強く取り組む」

失敗を繰り返し、目標を達成する。それが大きな目標であればあるほど失敗は続くものです。だから、神様が人間に与えてくれた最大の能力は「あきらめずに努力し続ける力」だと私は思います。人間は全ての生き物の中で一番無能な状態で生まれます。馬は生まれてすぐに立ち上がり、鳥も少ない時間で羽ばたきます。しかし、一番無能な状態で生まれた人間は、ことばを使って考え、努力し、チームで支え合って自動車を創り、船を創り、飛行機で空を飛びます。全て、「あきらめずに、粘り強く努力」し続けた成果です。

7 人生で大切にすべきは成功か失敗かではなく、「できると信じて努力し続けた日々にある」

為せば為る。という考え方はとても重要であり、実際にそのような経験も少なからず多くの人も経験していると思います。しかし、就きたい職業に全ての人が就いているわけではありません。私は、それを負け組とは思いません。「願いに向かって精一杯努力した時間と日々がその人にとってどんな意味があるかが重要」なのだと思います。人生ではいけない事は、失敗ではなく「後悔」であると考えます。後悔とは、「やればできることをしなかったときに湧きあがる感情」です。「努力を続け、やれるだけやった実感をもっている人は、後悔はしない」と思います。

8 「結果ではなく、努力する過程を一番大切にする」

人生は思い通りにならないものです。人の目も、結果も自分にはコントロールできません。

また、過去は変えられず、未来のことは分かりません。だから、「今自分にできることをしっかりやる」ことが重要なのではないのでしょうか。私は「準備」とは、言い訳をしないうちに努力すること

であると思います。

9 「ベストではなく、ベターな選択も考え選択する」

できることにベストを尽くすうえで、いつもベストではなく、柔軟にベターな選択をして実行する事も重要です。朝遅刻しないで登校することはベストです。しかし、体調が悪かったりして遅刻することもあると思います。そのような時には欠席するのではなく、体調を整え、遅刻して登校することがベターな選択です。真面目で一生懸命、自分が考えたことを一直線に突き進むだけでは、より良く生きることは難しいと思います。

10 「危険を予測し、自ら回避する能力を高めながら、共に生きる」努力をしましょう

能登半島地震や羽田空港の飛行機事故等から、改めて命の大切さや共に生きることの重要性が再認識されました。自分たちの生活中にある自然災害や交通事故、火災、SNS等の被害、いじめやハラスメント等の危険を予測し、主体的に回避することを心掛けましょう。

また、「共に生きる」視点として、家族や友人との生活、被災された方々への援助等できることを考え、実行していきましょう。

学校教育目標 「社会に貢献する」
大災害、大事故で「社会に貢献」する方々から学ぶ

- 自衛隊・警察の方々 捜索・救助・避難所の支援等をし、人目を忍んで食事・休憩している。
- 消防団の方々 家族の捜索や救助もできず、地域の方々のために活動をしている方もいる。
- パンの災害援助 避難者への救助活動として「製パン」会社3社が、翌日には20万個のパンを届けた。特にヤマザキ製パンは、東日本大震災でも1500万個のパンを届け、リアルアンパンマンと呼ばれている。同社は「被災地への緊急食糧供給は食品会社の使命としている。
- コンビニ3社の災害援助 セブンイレブン・ローソン・ファミリーマート等のコンビニ各社は災害時に地域への貢献活動を重視している。北陸3県で一番数が多いファミリーマートでは、5日までにパン1万7千個、おにぎり3万3千個、飲料水5万5千本を配送。
- 寄付で援助 大谷翔平さん・ヒカキンさん等のスポーツ選手や芸能人の方々も義援金で援助。
- 外国の代表の方々日本を応援する声明 ※ 「日本がんばって！」(台湾)
イギリス・フランス・台湾等の多くの外国から日本を支援・応援するメッセージが届けられている。
- 日本航空CA9名等の方々 2日の飛行機事故で乗客の人命を救った方々。特に通信が途絶えている中で、炎が見えない場所から3か所の脱出用シューターを的確に使用して、379名全員を脱出させたCAさんの方々。
- ANAの地上勤務の方々 2日の飛行機事故では、地上勤務のANAの方々が避難・誘導。
- 乗客の方々の対応・マナー 緊急時での冷静で、的確な避難行動が搭乗者全員を守った。

学校教育目標重点 「 確かな学力の育成 」 「 豊かな心の育成 」

祝 社会を明るくする運動 「山梨県作文コンテスト」で桜愛^{さくら}さんが最優秀賞を受賞しました

12月26日(火)に甲府市の県立図書館で、第73回「社会を明るくする運動」山梨県作文コンテストの表彰式がありました。この作文コンテストで、本校3年生の山口桜愛さんが「最優秀賞」を受賞しました。県内の小中学校95校が参加し、1,273点の応募作品からの受賞です。

「私にもできる人助けの方法」と題して、身近な人に言葉がけをして悩みや困っていることを改善し、孤独から解放され、犯罪等に手を染めようと考えない社会を創っていくことの大切さを訴えました。当日は、受賞者、関係者の前で受賞作品を思いを込めて発表しました。

表彰式に参加していた山日新聞の代表の方から、桜愛さんの作品をはじめ、多くの発表会に積極的に参加し、数多くの受賞を重ねた道志中学校の生徒や教職員に高い評価を頂きました。

知事さんの代理の山梨県県民生活部長さんから表彰を受け桜愛さん



全員の前で発表



指導した国語科の天野先生



受賞者全員で記念撮影



最優秀賞 桜愛さん



3年生を中心に、自分の思いを堂々と表現し、県レベルで表彰される生徒が多くなっています。

